

mini DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌

第101期 営業のご報告



ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、2024年3月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

経済環境につきましては、インバウンド復活や賃上げ等に加え、日経平均株価の最高値更新、日本銀行のマイナス金利政策解除といった大きな転換点を迎えた一方、円安等に伴う物価高騰や人手不足が深刻化しております。

このようななか、当行では、長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan) ~多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く」の第一ステージである中期経営計画「MCP 1/3」のもと、デジタル化の取組みを一層加速させていくとともに、課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成など、人的資本経営の実践に努めております。

あわせて、地元企業の皆さまに寄り添い、様々な課題にお応えする本業支援を徹底するとともに、サステナビリティ経営や地域活性化といった分野におきましても、これまで蓄積してきたノウハウやネットワークを活用し、積極的に取り組んでおります。

また、お客さまの最善の利益を実現する業務運営態勢構築や、コーポレートガバナンスおよびコンプライアンス強化に向けましては、2023年7月策定の業務改善計画のもと、最大限の努力を重ねております。

創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、地域になくてはならない銀行としての存在意義を発揮し、全てのステークホルダーの皆さまとともに持続的発展を目指し、役職員一同精進していく所存です。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

頭 取 長堀和正



武蔵野銀行について

経営理念

- 「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、
地域とともに発展します。
- 「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を
展開し、組織を挙げて最良の
サービスを提供します。

ブランドメッセージ

More For You
もっと、街・暮らし・笑顔のために

プロフィール

名 称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
ホームページ	https://www.musashinobank.co.jp
設 立	1952年3月6日
ネットワーク	営業店舗数 99か店 (県内93 [うち出張所2]、県外6) 住宅ローンセンター 8か所
従 業 員 数	1,904名
イ メ ー ジ キャラクター	ポチャッコ 

©2024 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L651798

武蔵野銀行グループ

連結子会社

株式会社武蔵野銀行	ぶぎん総合リース株式会社
	ぶぎん保証株式会社
	むさしのカード株式会社
	ぶぎんシステムサービス株式会社
	株式会社ぶぎん地域経済研究所
	株式会社ぶぎんキャピタル
	むさしのハーモニー株式会社
	むさしの未来パートナーズ株式会社

(2024年3月末現在)

武蔵野銀行のあゆみ

- 1952年 4月
資本金1億円、本店を大宮市
(現さいたま市)に置き8か店
で創業
- 1969年 10月
東証第二部に上場
(1970年8月東証第一部に上場)
(2022年4月東証プライム市場に移行)



創業当時の本店

- 2013年 1月
吉川支店開設により県内全市(40市)に
支店網確立

- 2016年 3月
千葉・武蔵野アライアンス締結

- 2019年 3月
TSUBASAアライアンスに参加

- 2019年10月
池袋支店開設により全99か店となる

- 2021年 12月
新本店ビルブランドオープン

- 2022年 6月
100%出資の地域商社
「むさしの未来パートナーズ」
設立によりグループ会社8社となる

- 2023年 3月
長期ビジョン「MCP～多彩な価値を結集し、地域No.1の
ソリューションで埼玉の未来を切り拓く～」を策定



長期ビジョン「MCP」・中期経営計画「MCP 1/3」

長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan)」

多彩な価値を結集し、
地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く

実現に向けた『2つの基本方針』

基本方針Ⅰ ▶ 地域・お客さまの期待を超える存在へ

- 金融・非金融の両面からお客さまの暮らしや事業に深く入り込み、課題解決にコミットし続けることで、期待以上の価値を提供する
- 地域が潜在的に抱える課題の解決に貢献し、魅力ある地域の創造と成長を支援することで、豊かな未来を実現する

基本方針Ⅱ ▶ 組織・従業員の力を最大化

- 地域になくてはならない金融機関として、環境変化に対応できるレジリエンスの高い組織を構築する
- 全ての従業員が銀行グループで働く喜びを分かち合い、個々の能力を最大限発揮するため、高度な専門性や多様な働き方を提供する

ビジョン実現に向けた10年

第1ステージ(3年)

中期経営計画
「MCP 1/3(ワンサード)」
(2023年4月～2026年3月)

将来に向けた土台を築く

第2ステージ(3年)

次期中期経営計画
(2026年4月～2029年3月)

確固たる地位を確立する

最終ステージ(4年)

次々期中期経営計画
(2029年4月～2033年3月)

期待を超える存在となる

中期経営計画「MCP 1/3 (ワンサード)」 (2023年4月～2026年3月)

2つのテーマ

リアルとデジタルを融合し、地域・お客さまと共に歩む

あらゆる価値を認め合い、多彩な人材が躍動する

目指すビジネスモデル

デジタル・人的資本への投資を通じてサステナブルな経営基盤を構築するとともに、サービスレベル向上・顧客接点の増強によって、お客さま満足の最大化を目指していく

具体的戦略

営業推進態勢

法人戦略

個人戦略

地域活性化戦略

グループ戦略

チャネル戦略

デジタル戦略

人材戦略

有価証券戦略

アライアンス戦略

サステナビリティ
戦略

経営管理態勢

中期経営計画「MCP 1/3」の主な取組み

■法人のお客さまに向けた取組み



お客さまのことを深く理解し、専門性の高いソリューションを提案する態勢を構築しています。

- ・IT導入支援や人材紹介など、コンサルティングメニューの拡充
- ・円滑な事業承継やM&Aなど、お客さまの成長ステージに合わせたきめ細かな支援

■個人のお客さまに向けた取組み



お客さまの生涯に亘るパートナーとして、ライフステージに寄り添った提案に注力しています。

- ・お客さま本位の業務運営の実践
- ・長期安定的な資産形成に貢献する提案高度化
- ・信託機能を活かした相続・資産承継ニーズへの対応

■地域活性化戦略



自治体や大学、地元企業の皆さまと連携し、埼玉ならではの地域活性化に取り組んでいます。

- ・産学官金連携のプラットフォーム構築
- ・観光・シティプロモーションへの取組み強化
- ・地域資源の発掘・創造
- ・農業分野での実践的課題解決

■デジタル戦略



先進的なデジタル技術活用により、お客さま利便性の向上や銀行業務の生産性向上などにスピード感を持って取り組んでいます。

- ・スマホアプリの機能拡充
- ・法人向けデジタルサービスの強化
- ・お客さま接点の拡充と従業員のワークスタイル改革に向けたコミュニケーション基盤構築

■人的資本経営の実践



高い課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成や、ダイバーシティの取組みを進めています。

- ・ファイナンシャルプランナーやデジタル人材の育成
- ・ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの実践
- ・従業員のリスキリング・エンゲージメント向上

■アライアンス戦略

様々な分野での連携・協働を行っています。

千葉・武蔵野アライアンス

- ・相続関連業務
- ・共同拠点の設置 など



TSUBASAアライアンス

- ・キャッシュレス業務
- ・アプリ共同開発 など



地域商社「むさしの未来パートナーズ」



当行100%出資の地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、これまでの銀行業務の枠組みを超えた非金融の取組みを通じ、地域の皆さまの課題や困りごとを解決し、経済および社会の活性化に貢献していきます。

個人(アクティブシニア)支援事業 有料会員制サービス「彩・発見」



有料会員制サービス「彩・発見」では、アクティブシニアの方々をはじめとした高齢者の皆さまの日常生活における困りごととの解決や、暮らしを彩る体験の提供を行っています。

つかう

- ・家事代行や庭の手入れといった日常生活の困りごとを解決します。
- ・食事や趣味など暮らしを彩る体験を提供します。

もらえる

厳選した県内の逸品を年2回お届けします。



参加する

会員の皆さま限定のイベントを開催しています。

・スマートフォン教室 ・フォトコンテスト など

事業者向け商流支援事業

IBUSHIGIN
いぶしぎん

商流支援のプラットフォームとして購入型クラウドファンディングとECサイトを運営し、事業者の皆さまの商品やサービスの企画から開発、ブランディング、販売に至る伴走支援を行っています。

購入型クラウドファンディング「IBUSHIGIN(いぶしぎん)」

事業者と応援者を繋ぐプラットフォームとして、新商品・サービスのテストマーケティングやプロモーション、ファンづくりの機会を提供しています。



ECサイト「IBUSHIGIN公式ストア」

「IBUSHIGIN」で取扱いを行った人気の商品・サービスを通年販売するECサイトを運営しています。



TOPICS 埼玉の魅力ある商品をより多くの皆さまにお届けします

カタログギフト「IBUSHIGIN ギフト ～多士彩々～」

「IBUSHIGIN 公式ストア」の商品を厳選したカタログギフトの取扱いを始めました。大切な方への贈答用にご利用いただけます。



自社商品の取扱い

さいたま市内で当行が生産したお米を用いた「おこげせんべい」など、「IBUSHIGIN」でしか購入できない自社商品の取扱いを行っています。



サステナビリティへの取り組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に採り入れています。経営陣の積極的な関与や横断的な取り組み促進など推進態勢強化を図りながら、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みに注力しています。

武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取り組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」

全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取り組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組みます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性あるサステナビリティ経営の実践を目指していきます。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融资方針

人権方針

気候変動への対応

TCFD提言への取り組み



気候変動への取り組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、温室効果ガス排出量削減およびサステナブルファイナンスに関する目標を定め開示しています。

温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化等に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



TOPICS

CO₂排出量削減に向けた取り組み

2024年5月、本店および事務センターで使用する全電力を再生可能エネルギーに切り替えました。

このほか、EV(電気自動車)や省エネ設備導入、従業員のワークスタイル見直しを通じた節電などにも取り組んでいます。



持続可能な住まいづくりを応援 —サステナブル住宅応援プラン—

環境配慮型住宅を購入・新築されるお客さま向けの住宅ローンプランを提供しています。

- ・ZEH水準を有する住宅
- ・低炭素建築物認定制度に適合する住宅
- ・住宅用太陽光発電が設置されている住宅 など



詳しくは
こちらから



お客さま本位の業務運営の実践

当行は経営理念の一つとして「顧客尊重」を掲げ、対話を通じお客さま一人ひとりに最適なソリューションを提供することを大切にしています。こうした考えに基づき、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を定め、資産運用・資産形成コンサルティング業務において、販売会社としてお客さま本位の業務運営に取り組んでおります。

基本方針 ～お客さまの最善の利益の実現に向けて～

お客さまのニーズやご意向をしっかりと把握し、良質な商品・サービスのご提供に継続的に取り組むことが、お客さまの長期資産形成、ひいては武蔵野銀行の成長にも繋がるものと考え、これからも、役職員一人ひとりが、高い専門性と職業倫理をもって、誠実・公正に業務を行うとともに、真の意味で「常にお客さま本位で考え行動する」ために全行一体となって不断の努力を重ね、お客さまの最善の利益を実現してまいります。

1 お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

金融商品の提案を行うに当たり、お客さまのニーズを的確にとらえ、商品のリスク・複雑性に応じて、販売すべきお客さまの属性を想定し、適切な商品選定に努めます。

また、お客さまにふさわしい商品やサービスについて、お客さまとともに考えます。そのため、まず、お客さまを「よく知る」ことから始め、ニーズや目的をしっかりと伺いします。その上で、お客さまの知識・投資経験・資産の状況等に照らし、適切な商品・サービスをご提案するよう心がけます。

なお、商品の特性・リスク等を踏まえ、お客さまにとってふさわしいとはいえない可能性があると判断した場合には、必要に応じてお客さまとご相談し、ご提案を控えさせていただくこともございます。

2 重要な情報の分かりやすい提供

販売する商品の特性・リスク・手数料や、経済環境・市場動向等を含め、お客さまのご判断に役立つ情報を充実させるとともに、お客さまに分かりやすい形での提供に努めます。

3 手数料等の明確化

商品・サービスのご提供に際し、商品・サービスの開発や改善等の品質向上、各種情報のご提供、事務、インフラ関連等の費用を総合的に勘案し、手数料をいただいております。こうした手数料に関しましては、できる限り分かりやすく丁寧な情報提供に努めます。

4 利益相反の適切な管理

「お客さま本位」の考えに立ち、誠実・公正に業務を遂行するため、利益相反のおそれがある場合には、これを適切に管理することにより、お客さま本位の業務運営に努めます。また、利益相反管理方針に基づき、管理の対象とする利益相反の類型、利益相反のおそれのある取引とその特定方法、利益相反の管理方法、利益相反管理体制、利益相反管理の対象となるグループ会社の範囲を定め、お客さまの利益を不当に害することがないよう利益相反を適切に管理してまいります。

5 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

真の意味で「常にお客さま本位で考え行動する」ため、取組みの継続と実効性の確保に向け、従業員に対し適切な動機づけを図ってまいります。長期的な視野に立った上で、「お客さま本位」の営業活動を促す業績評価体系の整備に努めるとともに、誠実・公正な業務の遂行、職業倫理の向上に向けた研修等の充実にも努めます。

品質向上委員会

お客さまの最善の利益の実現に向けた態勢構築の一環として、2023年8月に頭取を委員長とする「品質向上委員会」を設置しました。本委員会を毎月開催し、金融商品販売に係るお客さま対応や苦情などについて、経営陣の積極的な関与のもと適時適切にモニタリングを行うとともに、必要な対策を迅速に実施しています。

お客さま本位の業務運営に向けた取組状況等につきましてはホームページをご覧ください。

<https://www.musashinobank.co.jp/company/fiduciary/>

経営管理態勢の高度化に向けた取組み

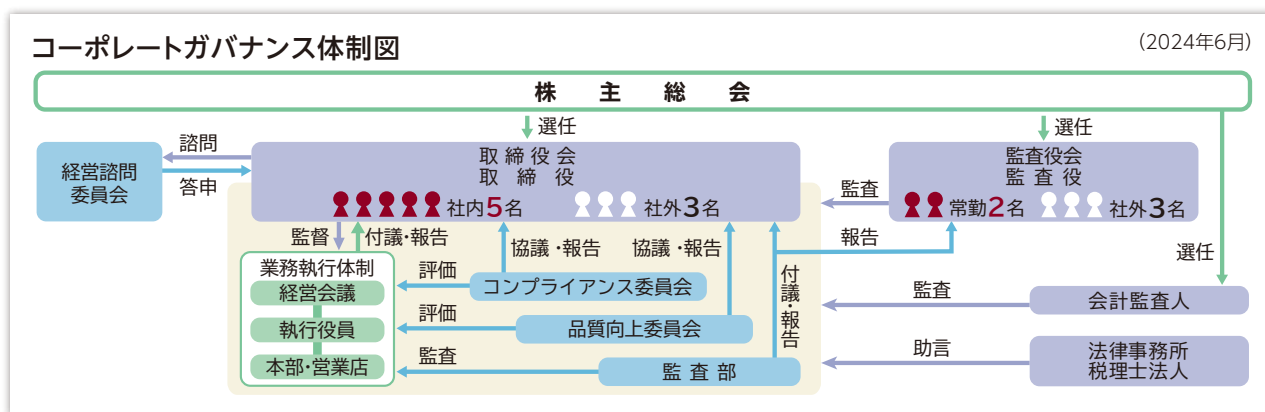
コーポレートガバナンスの充実は持続的成長と企業価値向上に不可欠であるとの認識のもと、取組みを強化しています。あわせて、銀行に求められている社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンス（法令遵守）体制の強化に継続的に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの充実

コーポレートガバナンスの充実を経営の重要課題と認識し、法令や規程を遵守するとともに、取締役会及び監査役会において取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

豊かな知見と経験を有した社外取締役3名と社外監査役3名を選任し、取締役の職務執行に係るモニタリング・監査に加え、取締役会への出席等を通じ、透明性を保ちながら独立・中立の立場で幅広い視野から積極的に経営に関する意見表明・助言等を行うことで経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。あわせて、取締役の任期を1年とすることで、経営環境の変化に即応できる体制構築を図っています。

また、執行役員制度のもと、取締役の員数をスリム化し迅速な経営判断を可能としています。



コーポレートガバナンスに関する基本方針を開示しています

本基本方針に基づき、最良のコーポレートガバナンスの実現に向け、株主の皆さまとの建設的な対話や公平かつ適時・適切な情報開示などに努めております。

【コンプライアンス（法令遵守）体制の強化

当行では、社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題の一つと位置付け、経営陣自ら積極的に関与し、体制の整備や指導方法の確立など、体制強化に取り組んでいます。

今後につきましても、確固たる倫理観と誠実さを基本とした企業行動と、自己責任原則に則った経営姿勢を一段と強め、日常業務や自らの行動における法令や社会規範等の遵守を実践してまいります。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR TOWN

事業者の皆さまの最良のパートナーとして

事業者の皆さまの多様な経営課題の解決と持続的な成長に向けた支援を行っています。

生産性向上

- 社内業務のDX化に向けたクラウドサービスを提供するほか、マルチ決済端末を用いたキャッシュレス化をサポートしています。
- IT導入による業務フローの改善など、生産性向上に資するコンサルティングサービスを提供しています。



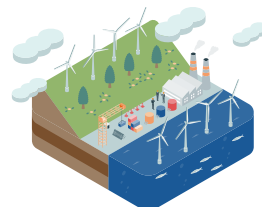
人材に関わる課題

- 事業拡大や新事業展開などに貢献する最適な人材を紹介しています。
- 従業員のエンゲージメント向上など人的資本経営をサポートするサービスを提供しています。



サステナビリティ経営

- SDGsや脱炭素などの取組みを後押しするファイナンスやコンサルティングサービスを提供しています。
- 自然災害などに備えるBCP（事業継続計画）の作成支援を行っています。



事業者の皆さまに寄り添った様々な支援メニューを用意しています

創業・新事業

埼玉県よろず支援拠点など公的機関と連携し、きめ細かな支援を行っています。

ビジネスマッチング

当行独自のネットワークを活かし、最適なビジネスパートナーを紹介しています。

事業計画策定

経営環境の分析や、事業戦略の策定、計画指標の設定などをサポートします。

補助金活用

ものづくり補助金等の公的支援制度活用に向け、事業計画書の作成などをサポートします。

海外進出

当行の海外拠点や、連携・協働によるネットワークを通じ、現地ニーズにお応えしています。

事業承継・M&A

後継者問題や事業承継などのお悩みに、専門機関と連携したサポートを行っています。

地域活性化に向けた取組み

地域活性化に向け、自治体等と連携したさまざまな取組みを行っています。

シティプロモーションの取組み

関係・定住人口の拡大を通じた地域活性化に向け、地域の魅力を発信するシティプロモーションに取り組んでいます。

嵐山町との連携協定(2024年2月)

ふるさと納税の情報発信など、同町の魅力を伝え地域活性化につなげるプロモーション活動に協働して取組んでいます。



千年の苑ランバダー園

地域の魅力発信

本店ビルの「M's SQUARE」では、特産品や観光情報など、各自治体の多彩な魅力を発信しています。



加須市魅力PR展(2024年4月)

自治体との連携・協働

経済活性化や住民サービス向上に向けた連携を行っています。

包括協定の締結
埼玉県および16市町

ぶぎん地域活性コンソーシアム

自治体・大学・企業などが連携し、地域活性化に向けた最新テーマを共有し、各地域の課題解決に繋がっています。

産業振興

農業支援

公共施設の利活用

住民の健康増進

地域脱炭素

企業版ふるさと納税

さいたま市での「農」&「食」のプロジェクト

～新産業創造と農業の課題解決へ～

さいたま市内での小麦と米の生産や加工品開発など、「農」と「食」を基軸とした2つのプロジェクトを展開しています。

見沼田んぼ “小麦”6次産業創造プロジェクト

見沼田んぼでの小麦の生産復活と新たな産業の創造に向け、事業者の方々や行政、教育機関と連携し、製品開発などに取組んでいます。



むさしのアグリイノベーション プロジェクト

米づくりや加工品製造などに挑戦し、そこで得られるノウハウや知見を基に、県内農業を取り巻く地域課題の解決を目指していきます。



ドローンの活用



TOPICS

地域間連携の取組み

北陸新幹線の福井・敦賀開業を記念し、福井県および福井銀行の協力のもと、同県の物産・観光の魅力を発信する「つながる福井PR展」を開催しました。



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
▶ LIFE

便利なサービスをいつでも、どこでもご利用いただけます

振込などのお取引がアプリで簡単に

武蔵野銀行アプリ

主要な銀行手続きをスマートフォンで簡単に行えます。今後も便利な機能を追加していく予定です。

残高照会

入出金明細照会

振込・振替

税金・料金支払



ダウン
ロードは
こちらから



TOPICS

デザインきせかえ機能

アプリの画面を、当行イメージキャラクターの「ポチャッコ」や地元スポーツチーム、埼玉県ご当地キャラクターのデザインにいつでも変更することができます。



当行イメージキャラクター	ポチャッコ
地元スポーツチーム	埼玉西武ライオンズ 大宮アルディージャ 越谷アルファーズ
埼玉県 ご当地キャラクター	コバトン&さいたまっち(埼玉県マスコット) カパル(志木市広報大使) ふっかちゃん(深谷市イメージキャラクター)

様々な電子決済サービスと連携

スマホから簡単に電子マネーへのチャージや支払などが行えます。



銀行へのご来店不要でお手続きが完了



インターネット専用口座
「Web Note」

スマートフォンやパソコンからお申込み可能な、通帳を発行しない預金口座です。

口座開設は
こちらから



無担保ローン

各種ローンについて、お申込からご契約まで、ご来店いただくことなく全てのお手続きが完結します。

マイカーローン

教育ローン

リフォームローン

フリーローン

多目的ローン

空き家活用ローン

人生100年時代の資産づくりをサポート

お客さまの生涯に亘るパートナーとして、長期安定的な資産形成をサポートしています。

資産形成をサポートするラインナップ

投資信託

NISA

積立サービス

ファンドラップ

iDeCo

(個人型確定拠出年金)

生命保険

外貨預金

むさしのマネープラン

ご自身の資産形成に対する考え方や生活スタイルに合った運用方法が見つかるWEBサービスです。

アクセスは
こちらから



TOPICS

NISA制度を活用した 資産形成のサポート

2024年1月から開始した新NISA制度の活用に向け、お客さま向けセミナーの開催など積極的な情報発信に努めています。

次の世代へ想いを繋ぐ ～お客さまの大切な資産承継をお手伝い～

むさしの暦年贈与型信託 「贈る想い」



大切な資産承継を
お手伝い

生前贈与を活用して大切なご資産をご家族へ贈ることができます。

むさしの金銭信託 「つなぐ想い」



万が一のときも
ご安心いただけます

認知症や要介護認定など、サポートが必要になった場合の金銭の受取りもスムーズに行うことができます。

むさしの 家族信託



相続発生までの
ご資産を守ります

認知症などで判断が難しくなった場合の財産管理や資産承継を総合的にサポートします。

遺言信託・ 遺産整理業務



円滑な相続・
資産継承に向けて

お忙しいお客さまに代わり、相続に向けた各種お手続きをサポートします。

むさしの 後見制度支援信託



お客さまの財産
管理をサポート

後見制度を利用されているお客さまの預貯金口座を安全・確実に管理します。

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
▶ SMILE

豊かな生物多様性を次世代へ受け継ぐために

公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」

自然環境保全・創出活動を行う事業に対し、30年以上に亘り活動資金を助成しています。2024年度は、18団体に総額296万円を助成しました。



1992年からの
助成実績

助成先
助成金額

のべ364団体
累計8,236万円

埼玉県生態系保護協会との連携

2024年5月、公益財団法人埼玉県生態系保護協会と「生物多様性保全に関する包括連携協定」を締結しました。お取引先企業や自治体への働きかけなどを通じて、埼玉の豊かな自然を守り育んでいきます。



地域のスポーツ振興

スポーツ振興に向け、地元チームを応援し、プレゼンツマッチや交流イベントを開催しています。

越谷アルファーズ

来シーズンよりバスケットボールB.LEAGUEでB1に昇格する「越谷アルファーズ」を応援しています。

当行プレゼンツゲームでの
特製 T シャツ



T.T彩たま

卓球T.LEAGUEで活躍する「T.T彩たま」を応援しています。

本店での卓球教室



埼玉西武ライオンズ

ファンの方や子どもたちに向けたイベントを開催しているほか、オリジナルデザインのキャッシュカード等を取扱っています。



選手によるトークショーイベント

大宮アルディージャ



小学生向けサッカー教室

TOPICS

健康を軸とした街づくり ～筑波大学との連携～

2024年3月、国立大学法人筑波大学が発起した「スポーツ・ウェルネス都市創生コンソーシアム」に、地域金融機関として唯一参画しました。

- 様々な分野から参画した企業・団体の相互連携や交流
- 少子高齢化などの社会課題の解決に向けた教育プログラムの提供
- スポーツや健康、いきがい等の領域における新たな視点を活かした街づくり



金融経済教育の取組み ～むさしの未来アカデミー～

当行では、「全ての世代の皆さまに対する金融経済教育」をSDGs宣言に掲げ、金融経済リテラシー向上に資する取組みを拡充しています。

小学生向けの取組み

お金の役割や銀行の仕事などについて学ぶ教室を継続的に開催しています。



銀行のお仕事体験

毎年夏に開催し、銀行業務の体験や営業店の見学を行っています。

伝統文化体験

地域の伝統文化を題材に、お金の役割・大切さを伝えるワークショップを開催しています。



かすかべ“ミニ”風作り

中高生向けの取組み

ライフプランや起業等に繋がるビジネスアイデア、SDGsをテーマとした講座を行っています。

金融経済・ビジネス教育講座

若手企業家の講演や、ビジネスを通じた地域課題解決をテーマとしたグループワークなどを行っています。



埼玉県版SDGsボードゲーム

ボードゲームを使用して、SDGsの基礎知識や県内の取組事例などを楽しく学ぶ講座を行っています。



子どもたちの笑顔と未来のために

子ども食堂の支援

未使用食品を寄贈する「フードドライブ運動」をはじめ、子ども食堂を様々な切り口からサポートしています。
また、子ども食堂の支援を希望される地元企業に、クラウドファンディングの仕組みを活用し、自社製品の提供をサポートする取組みを行っています。



子ども食堂の意義や魅力を伝える展示会



クラウドファンディングを通じた「子ども食堂支援プロジェクト」

ヤングケアラーの支援

地域一体でのヤングケアラー支援の輪を拡大するため、埼玉県や支援団体等と連携し、積極的な取組みを行っています。



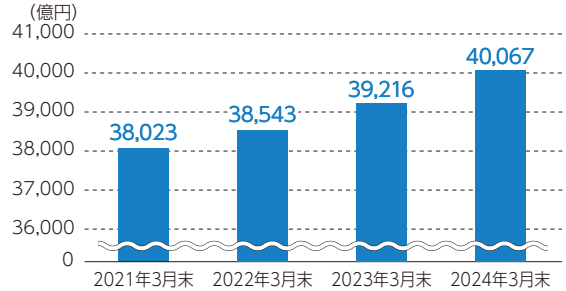
ヤングケアラー同士の交流会

業績ハイライト

■貸出金の状況 ■預金等・預り資産の状況 ■損益の状況
■格付 ■不良債権比率 ■自己資本比率

貸出金の状況

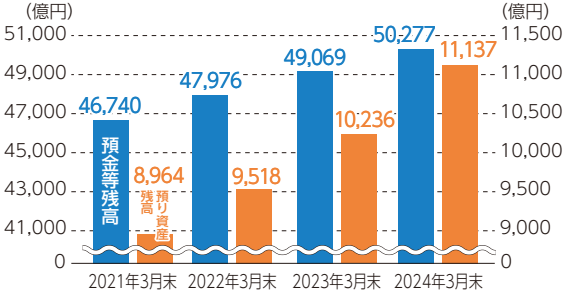
貸出金残高 4兆67億円



貸出金残高は、県内企業及び個人のお客さまの資金繰り支援に積極的かつ迅速にお応えした結果、前年度末比851億円(年率2.1%)増加し、4兆67億円となりました。

預金等・預り資産の状況

預金等残高 5兆 277億円
預り資産残高 1兆1,137億円

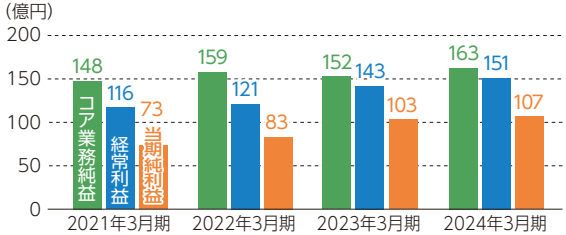


預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年度末比1,207億円(年率2.4%)増加し、5兆277億円となりました。
預り資産残高は、前年度末比8.8%増加し、預金等との合算では前年度末比3.5%の増加となりました。

預金等……預金及び譲渡性預金。
預り資産……投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース残高。生命保険は販売累計額。

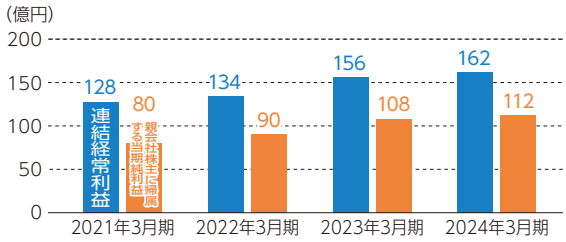
損益の状況

(単体) コア業務純益 163億円
経常利益 151億円
当期純利益 107億円



コア業務純益は163億円、経常利益は151億円、当期純利益は107億円となりました。

(連結) 経常利益 162億円
親会社株主に帰属する当期純利益 112億円



連結経常利益は162億円、親会社株主に帰属する当期純利益は112億円となりました。

格付 (公表日:2024年3月12日)

株式会社日本格付研究所 「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価。

A

不良債権比率

1.7%

自己資本比率

単体 9.83% 連結 10.27%

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

貸借対照表

	(単位:百万円)
(資産の部)	
現金預け金	230,817
買入金銭債権	759
商品有価証券	6
金銭の信託	1,492
有価証券	1,044,788
貸出金	4,006,739
外国為替	4,659
その他資産	27,428
有形固定資産	53,368
無形固定資産	4,816
前払年金費用	9,576
支払承諾見返	5,119
貸倒引当金	△ 14,188
資産の部合計	5,375,385

	(単位:百万円)
(負債の部)	
預金	4,978,220
譲渡性預金	49,500
コールマネー	39,518
債券貸借取引受入担保金	10,955
外国為替	348
信託勘定借	8,063
その他負債	14,816
賞与引当金	1,101
役員賞与引当金	19
退職給付引当金	2,613
睡眠預金払戻損失引当金	98
偶発損失引当金	187
株式報酬引当金	75
繰延税金負債	3,163
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	5,119
負債の部合計	5,118,031
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,351
資本準備金	38,351
利益剰余金	150,971
利益準備金	10,087
その他利益剰余金	140,884
自己株式	△ 793
株主資本合計	234,273
その他有価証券評価差額金	13,020
繰延ヘッジ損益	1,765
土地再評価差額金	8,286
評価・換算差額等合計	23,072
新株予約権	8
純資産の部合計	257,354
負債及び純資産の部合計	5,375,385

損益計算書

	(単位:百万円)
経常収益	68,535
資金運用収益	47,759
(うち貸出金利息)	(36,813)
(うち有価証券利息配当金)	(10,558)
信託報酬	25
役務取引等収益	13,685
その他業務収益	4,308
その他経常収益	2,757
経常費用	53,369
資金調達費用	4,583
(うち預金利息)	(612)
役務取引等費用	4,151
その他業務費用	7,983
営業経費	34,738
その他経常費用	1,912
経常利益	15,165
特別損失	29
税引前当期純利益	15,135
法人税、住民税及び事業税	3,557
法人税等調整額	830
法人税等合計	4,388
当期純利益	10,747

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

連結貸借対照表

	(単位:百万円)
(資産の部)	
現金預け金	230,916
買入金銭債権	759
商品有価証券	6
金銭の信託	1,492
有価証券	1,045,742
貸出金	3,995,006
外国為替	4,659
リース債権及びリース投資資産	19,219
その他資産	43,457
有形固定資産	54,658
無形固定資産	4,872
退職給付に係る資産	14,381
繰延税金資産	809
支払承諾見返	5,119
貸倒引当金	△ 17,086
資産の部合計	5,404,015

	(単位:百万円)
(負債の部)	
預金	4,973,482
譲渡性預金	39,500
コールマネー及び売渡手形	39,518
債券貸借取引受入担保金	10,955
借入金	12,380
外国為替	348
信託勘定借	8,063
その他負債	26,854
賞与引当金	1,150
役員賞与引当金	32
退職給付に係る負債	2,490
役員退職慰労引当金	33
利息返還損失引当金	33
睡眠預金払戻損失引当金	98
ポイント引当金	116
偶発損失引当金	187
株式報酬引当金	75
繰延税金負債	5,208
再評価に係る繰延税金負債	4,227
支払承諾	5,119
負債の部合計	5,129,877
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,350
利益剰余金	163,202
自己株式	△ 793
株主資本合計	246,503
その他有価証券評価差額金	14,060
繰延ヘッジ損益	1,765
土地再評価差額金	8,286
退職給付に係る調整累計額	3,474
その他の包括利益累計額合計	27,587
新株予約権	8
非支配株主持分	38
純資産の部合計	274,138
負債及び純資産の部合計	5,404,015

連結損益計算書

	(単位:百万円)
経常収益	81,068
資金運用収益	46,932
(うち貸出金利息)	(36,830)
(うち有価証券利息配当金)	(9,708)
信託報酬	25
役務取引等収益	14,401
その他業務収益	5,470
その他経常収益	14,239
経常費用	64,807
資金調達費用	4,621
(うち預金利息)	(612)
役務取引等費用	3,841
その他業務費用	7,983
営業経費	36,278
その他経常費用	12,081
経常利益	16,261
特別損失	29
税金等調整前当期純利益	16,231
法人税、住民税及び事業税	4,087
法人税等調整額	874
法人税等合計	4,962
当期純利益	11,269
非支配株主に帰属する当期純利益	5
親会社株主に帰属する当期純利益	11,264

連結包括利益計算書

	(単位:百万円)
当期純利益	11,269
その他の包括利益	14,172
その他有価証券評価差額金	7,560
繰延ヘッジ損益	1,918
退職給付に係る調整額	4,693
包括利益	25,442
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	25,436
非支配株主に係る包括利益	5

株式のご案内

[事業年度] 毎年4月1日から翌年3月31日まで
[定時株主総会] 毎年6月に開催
[基準日] 定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
[公告の方法] 電子公告といたします。
[株主名簿管理人及び特別口座管理機関]
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
[連絡先]三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番1号 0120-232-711 (通話料無料)
[郵送先]〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の状況等 (2024年3月末現在)

発行可能株式総数..... 80,000,000株
発行済株式の総数..... 33,405,456株
(うち自己株式..... 262,214株)
株主数..... 13,178名
単元株式数..... 100株

株式の所有者別状況 (2024年3月末現在)

区 分	株式の状況（１単元の株式数100株）								単元未満 株式の状況 （株）
	政府及び 地方公共団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他	計	
					個人以外	個 人			
株主数(人)	—	36	33	816	153	3	7,690	8,731	—
所有株式数(単元)	—	122,306	5,601	73,811	59,100	3	71,746	332,567	148,756
所有株式数の割合(%)	—	36.78	1.68	22.20	17.77	0.00	21.57	100.00	—

(注) 1. 自己株式262,214株は「個人その他」に2,622単元、単元未満株式に14株含まれております。
2. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。
3. 「金融機関」及び「単元未満株式の状況」の欄には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式が、それぞれ641単元及び63株含まれております。

大株主の状況 (2024年3月末現在) (千株・%)

株主名	当行への出資状況	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,681	11.10
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,469	7.45
株式会社千葉銀行	925	2.79
QRファンド投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社QRインベストメント	914	2.75
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	810	2.44
明治安田生命保険相互会社	735	2.22
武蔵野銀行従業員持株会	710	2.14
住友生命保険相互会社	702	2.12
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	625	1.88
前田硝子株式会社	604	1.82

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(262千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(64千株)は含まれておりません。

株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーション

当行では株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視する方針のもと、定時株主総会のほか、機関投資家・アナリスト・個人投資家の皆さまを対象とする会社説明会等を開催しております。

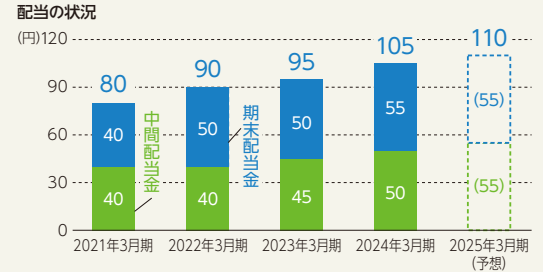
なお、定時株主総会の開催にあたり、以下の点を実施しております。

- ・招集通知の早期発送 ・招集通知(英訳含む)の当行ホームページ掲載
- ・議決権行使について書面及び電磁的方法の導入 (QRコードを用いた議決権行使等)
- ・株主総会動画の事後配信

今後も多くの株主さま・投資家の皆さまから積極的にご意見を承り、経営に活かしてまいります。

配当金のお知らせ

2024年3月期の1株当たり期末配当金は5円増額し55円とさせていただきます。これにより年間配当は1株当たり105円となります。



今後の配当政策につきましては、配当性向30%以上を目標に、利益の成長とともに累積的な配当を目指すこととしております。2025年3月期の配当予想については5円増額の110円とさせていただきます。

ホームページにて株主・投資家向け情報をご案内しております。

<https://www.musashinobank.co.jp/irinfo/>



いつもお客さまのそばに

店舗のご案内

- …営業店
- …住宅ローンセンター
- ▲…オフィス

埼玉県内 **93**か店
東京都 **5**か店
茨城県 **1**か店
計 **99**か店

店舗外ATM

埼玉県**105**か所
東京都**1**か所
茨城県**1**か所
(2024年5月末現在)

詳しくは
こちらから



地域創生スペース ～M's SQUARE～

本店ビル2階にある「M's SQUARE」は、埼玉県の魅力などを発信するイベントスペースやコワーキングスペース、カフェなどを併設しています。



イベント



セミナー



コワーキング



カフェ

営業時間
などの情報は
こちらから



表紙について

埼玉県の印象的な風景を取り上げました。右上から時計回りに、嵐山溪谷(嵐山町)、狭山湖(所沢市)、天空のポピー(皆野町)、古代蓮の里(行田市)です。

(写真提供：(一社)埼玉県物産観光協会)

武蔵野銀行

ホームページ <https://www.musashinobank.co.jp>
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
TEL.048-641-6111(代)

発行/2024年6月 編集/武蔵野銀行 総企画部 広報・CSRグループ

本冊子に掲載しております商品・サービス等の詳細につきましてはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。



ミックス
紙1責任ある森林
管理を式えています
FSC® C004782

この冊子は、適切に管理されたFSC®
認証林からの原材料および、再生資源
やその他の管理された原材料から
作られた、環境配慮型のFSC®認証
紙を使用しています。



この印刷製品は、環境
に配慮した資材と工場
で製造されています。



石油系溶剤を使わ
ないインキを使用
し、環境や健康に
配慮しています。



見やすいユニバー
サルデザインフォ
ントを採用しています。